

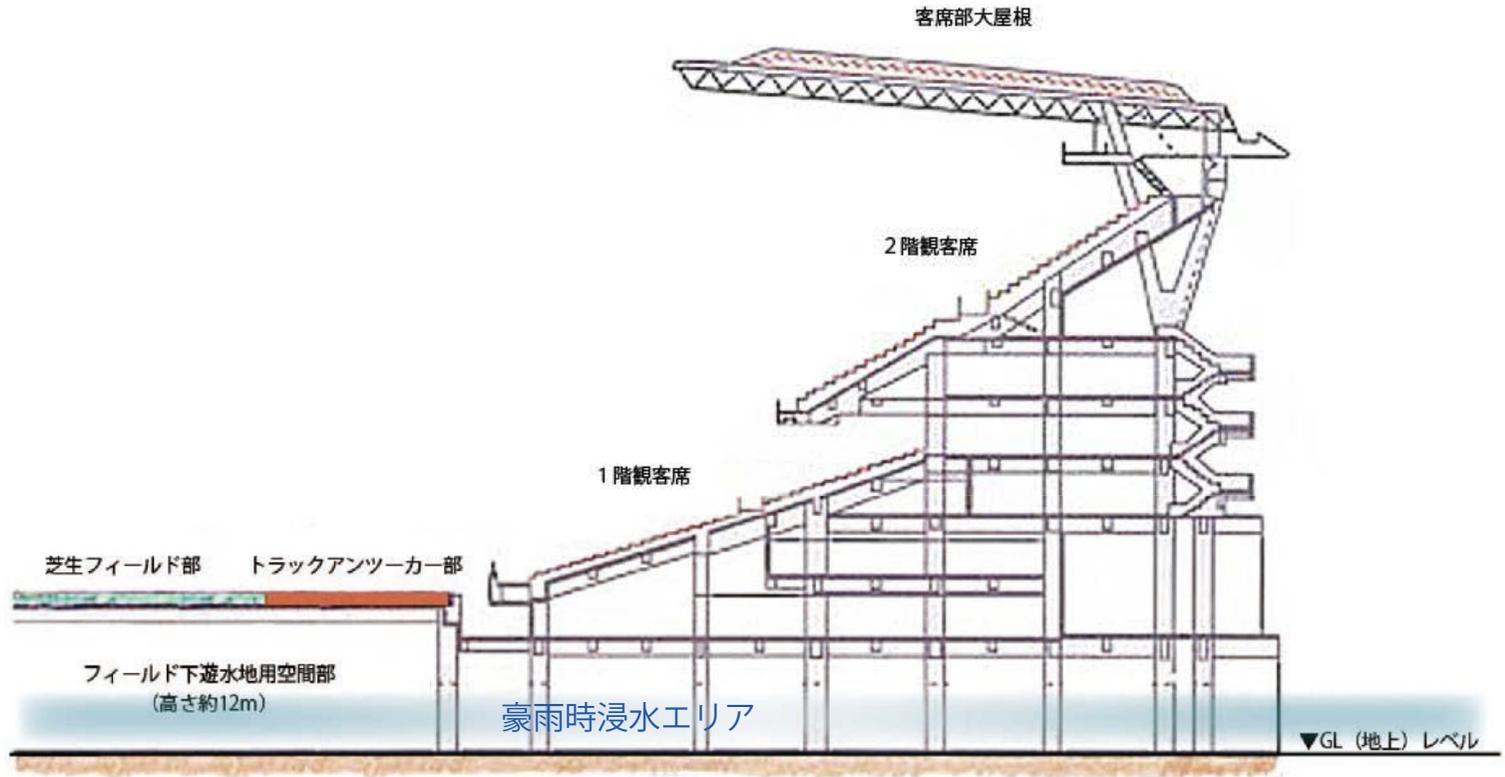
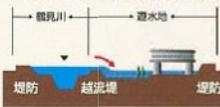


NISSAN STADIUM

多目的遊水地と新横浜公園



多目的遊水地とは、河川が氾濫した際に一時的に河川の水を引き込み、洪水の一部を溜めることで、流域への洪水被害を低減させる機能を持っています。新横浜公園内にある日産スタジアムは、実に千本以上の柱の上に乗り形で建設されており、洪水時にはスタジアムの下に水を流してお仕組みになっています。新横浜公園自体が、洪水から街を守るための安全・安心の装置なのです。

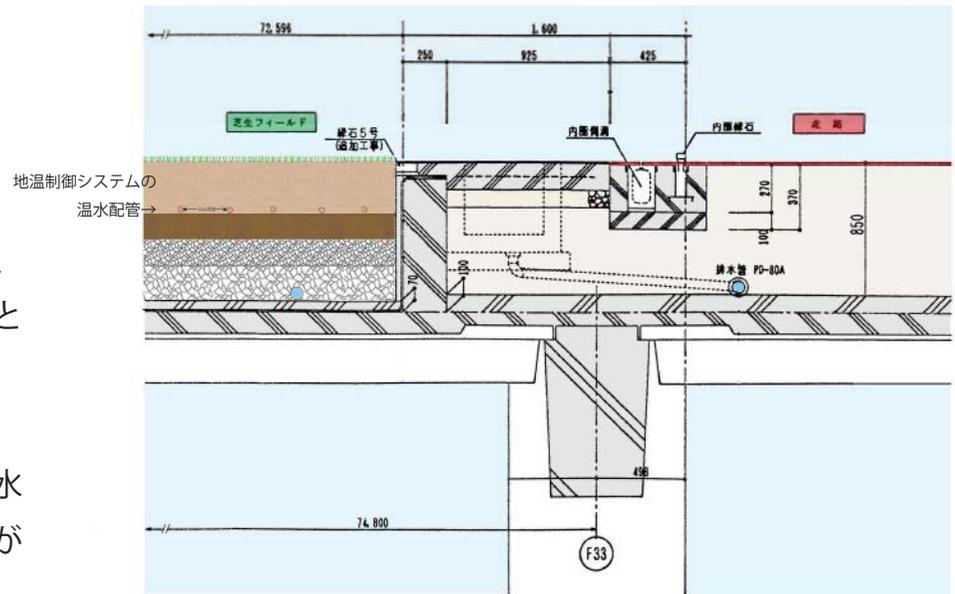


■日産スタジアムのフィールド構造と地温制御システム

日産スタジアムは、豪雨時には多目的遊水地としてスタジアムの人工地盤下の空間が利用される仕組みになっています。

このことから、フィールド部分は人工地盤の上に構成されており、通常の地盤と異なり、上からも下からも外気温の影響を受けやすくなります。その結果、芝生地盤は気温による影響を受けやすい特殊な性状となっています。

そこで、冬には芝生面下 30cm にはりめぐらされた温水配管に温水を流す地温制御システムを利用して、下部からの冷却を防ぐことが可能となっています。



芝生フィールド部 標準断面細図 S=1:20